

(1) 施設の概要等

香々地青少年の家 (昭和48年8月開所)



宿泊室 (324人) プラネタリウム館、
食堂、キャンプ場、プレイホール、
アスレチック広場、海水浴場など

【主な改修】

プラネタリウム機器改修 69,825千円
プレイホール床張替他 30,926千円
※今後の保全費用・・・ 447,688千円
(～H31年まで)

九重青少年の家 (昭和58年7月開所)



宿泊室 (304人)、プラネタリウム館、
食堂、キャンプ場、プレイホール、
アスレチック広場、天体観測場、
多目的広場など

【主な改修】

プラネタリウム機器改修 59,850千円
宿泊棟外壁工事等 26,609千円
※今後の保全費用・・・ 128,659千円
(～H31年まで)

利用状況の推移

(単位：人)

	H24	H25	H26	H27	H28
香々地	32,371	34,701	33,730	30,670	31,560
九重	42,743	47,305	46,445	46,607	37,915

※H28は見込

(2) 設置目的

青少年の健全な育成を図り、もって社会教育の振興に資するための施設として設置

(3) 役割と機能

① 法的根拠

【社会教育法】

第6条 都道府県の教育委員会は、次の事務を行う。
3 社会教育施設の設置及び運営に必要な物資の提供。

【学校教育法】

第31条 教育の目標の達成に資するよう、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

【学習指導要領】

特別活動〔学校行事〕旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

学校行事については、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。

② 青少年の家の機能

学校支援機能	学校・学年・学級づくりに繋げる集団宿泊活動
調査研究機能	不登校・発達障がい等の課題に対応した体験プログラムの開発と提供
指導者養成機能	体験活動の指導方法やリスクマネジメントを学ぶ教員対象の研修
体験活動提供機能	児童・生徒の発達段階に応じた多様な自然体験活動の提供

(4) 大分県行財政改革アクションプランの位置づけ

指定管理者制度や民間委託の導入・拡大

学校支援機能の維持に配慮した上で、閑散期の施設の運営効率の改善やサービスの向上、維持管理費の節減を目指し、指定管理者制度を含めた民間活力の導入を検討。

(5) 前回の意見に対する対応状況等

① 平成28年度の学校支援機能の取組

○ 学校・学年・学級づくりに繋げる長期宿泊型の体験活動の実施

- ・ 学校の研修目的に応じオーダーメイド学習指導案の作成支援
- ・ 担任と連携した個々の抱える課題への対応

「付けたい力」に応じた体験活動の提示・助言

- (例)
- ・ ウォークラリー
 - ・ ビーチコーミング
 - ・ 自然観察 等
- ※「付けたい力」
- ・ 人間関係を深める
 - ・ 環境について学ぶ 等

作成支援

教員の学習指導案の作成を支援(導入～展開の内容を助言)

- (例) ビーチコーミングの実施
- 目 標：環境問題に主体的に関わる意欲を育む
- テ ー マ：海岸にどのようなものが漂着しているだろう
- 導 入：班ごとにどのようなものが漂着しているか予想し、意見交換する
- 展 開：班ごとに漂着物を人工物と自然物に分けて収集
- まとめ：活動をふりかえり意見交換する(予想との比較、海の影響について考察)

○ 学習指導要領に対応し、学校教育と連携したプログラム等の提供

- ・ 理科遠足としての利用促進
九重町立野上小学校4年生(7/19)
・・・プラネタリウムを利用した「月と星」の学習
- ・ 文化部の利用促進
大分舞鶴高校科学部(12/23～24)
・・・学校設定科目「SS科学」(1年生必修)で
学んだ内容に基づいて天体観測を実施



舞鶴高校科学部の天球図を使用した事前学習の様子

青少年の家の職員が小・中・高校に対して学習指導案の作成支援等を行った割合

86.2%
支援した学校数(156校) / 利用学校数(181校)

② 冬季における利用増に向け11月以降に下記の取組等を実施(11月は周知期間として12月以降に事業実施)

〈香々地青少年の家〉(目標2,000人増)

- ・ 各市町村の教育支援センターと連携した不登校対策事業を実施

□ サポートキャンプ

内容：フリースクールに通う児童生徒の特性にあわせた活動プログラムを提供



サポートキャンプ行動計画を話し合う様子

- ・ 国東半島の自然を活かした取組等を実施

□ ノルディック・ウォーク体験会

内容：公認指導員による健康教室
回数：日帰り 8回



(ノルディックウォークの様子)

□ 国東半島魅力発見写真塾

内容：トレッキング×写真教室
回数：1泊2日 3回

□ ふたご座流星群星空観察会

内容：プラネタリウムも活用した親子鑑賞会
回数：1泊2日 1回

〈九重青少年の家〉(目標1,600人増)

- ・ 大学と緊密に連携し、フリースクール向けのプログラムを提供

□ ふれあいキャンプ

内容：不登校傾向にある児童生徒を対象に自然体験活動を提供



ふれあいキャンプみんなで協力し合う様子

- ・ 雪や冬の動植物等を活かした取組等を実施

□ チャレンジ! 雪ん子スノーパレード

内容：九重スキー場でのスキーや雪遊び
回数：2泊3日 1回



(雪遊びの様子)

□ 親子ネイチャートレッキング

内容：九州オルレコースでのトレッキング
回数：日帰り 1回

□ ここのえ親子スターナイトツアー

内容：ふたご座流星群や金星観察
回数：日帰り 1回、1泊2日 1回

③ 対前年度利用状況

※平成28年度は1月分までは実績値、2～3月及び合計は見込値(4月の熊本地震の影響により4～7月の利用者が減少)

(単位：人)

香々地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	九 重	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	4,082	2,889	3,186	5,992	4,156	2,467	1,893	966	1,380	1,854	665	1,140	30,670	27年度	7,048	5,469	3,270	6,710	6,776	4,892	2,684	1,243	2,032	2,593	2,070	1,820	46,607
28年度	1,452	3,203	3,325	5,375	4,504	3,476	1,699	1,059	1,694	2,673	1,400	1,700	31,560	28年度	2,620	2,061	2,273	6,070	6,528	3,624	2,483	2,064	2,562	2,930	2,400	2,300	37,915

(6) 29年度の取組について

○ 4つの機能を更にパワーアップし、以下の事業を実施

学校支援機能：第二の学校として集団宿泊訓練を支援

□ 教育合宿へ専門的な支援（約17,000人）

- ・規律、協調を身に付けさせるためのオリエンテーリングの実施など、学校の教育目的に応じたプログラムを提案
- ・担任と連携した児童生徒への対応や事前の職員打ち合わせにおける指導・助言
- ・中学生、高校生の勉強合宿にも対応

調査研究機能：青少年の抱える課題に対応した体験活動の実施

□ 課題を抱える青少年へ自然体験活動の機会を提供（約50人）

- ・児童養護施設の子ども等を対象
- ・トレッキングや農業体験等を実施

□ ネット依存からの脱却を目指すキャンプ（約10人）

- ・スマホ、ネット依存傾向のある中学生、高校生を対象
- ・医師等の専門家が参画した「生活改善キャンプ」を実施

指導者養成機能：教員の研修の場として指導者を養成する研修会を実施

□ 集団宿泊活動指導者研修会（約200人）

- ・教員を対象にしたプログラムの立案や体験活動のリスクマネジメント等の研修

□ 初任者研修「宿泊研修」（約150人）

- ・1年目の教員を対象とした自然体験活動や宿泊研修の理論と実践を学ぶ研修

体験活動提供機能：家庭教育の拠点として家族応援キャンペーンの実施

□ 年間を通して家族で継続的に青少年の家に足を運ぶ仕組みづくり（約4,000人）

- ・登録制の「青少年の家ファミリークラブ」により、香々地・九重の四季を家族で満喫
- ・家族相互で交流、協力し合あうことを通して家庭教育についての意識を啓発

○ 施設運営や地域等との連携の取組について

□ 運営経費について

- ・施設内外の清掃業務、警備、食堂運営等は専門業者に委託済
- ・引き続き維持管理費の節減に努める

□ 広報について

- ・教育だよりおいた、ホームページ、SNS等による情報発信
- ・主催事業スケジュールの配布など学校への広報を強化
- ・県内外の少年自然の家や地域の観光拠点等のホームページにリンクの貼付けを依頼し、広報を強化

□ 他の施設や地域との連携について

- ・歴史博物館での土器作りや農業文化公園内でのウォーキング・自然観察など他の施設と連携した体験活動を提供
- ・地域ブランドである世界農業遺産や九州オルレのコース等を活用し魅力あるプログラムを提供
- ・観光協会とタイアップした誘客
- ・地域人材を活用したしめ縄作りなどの体験活動を実施



集団宿泊訓練における、教育合宿入所式の様子



集団行動の訓練の様子
大学生メンタルフレンドと一緒に長なわとび



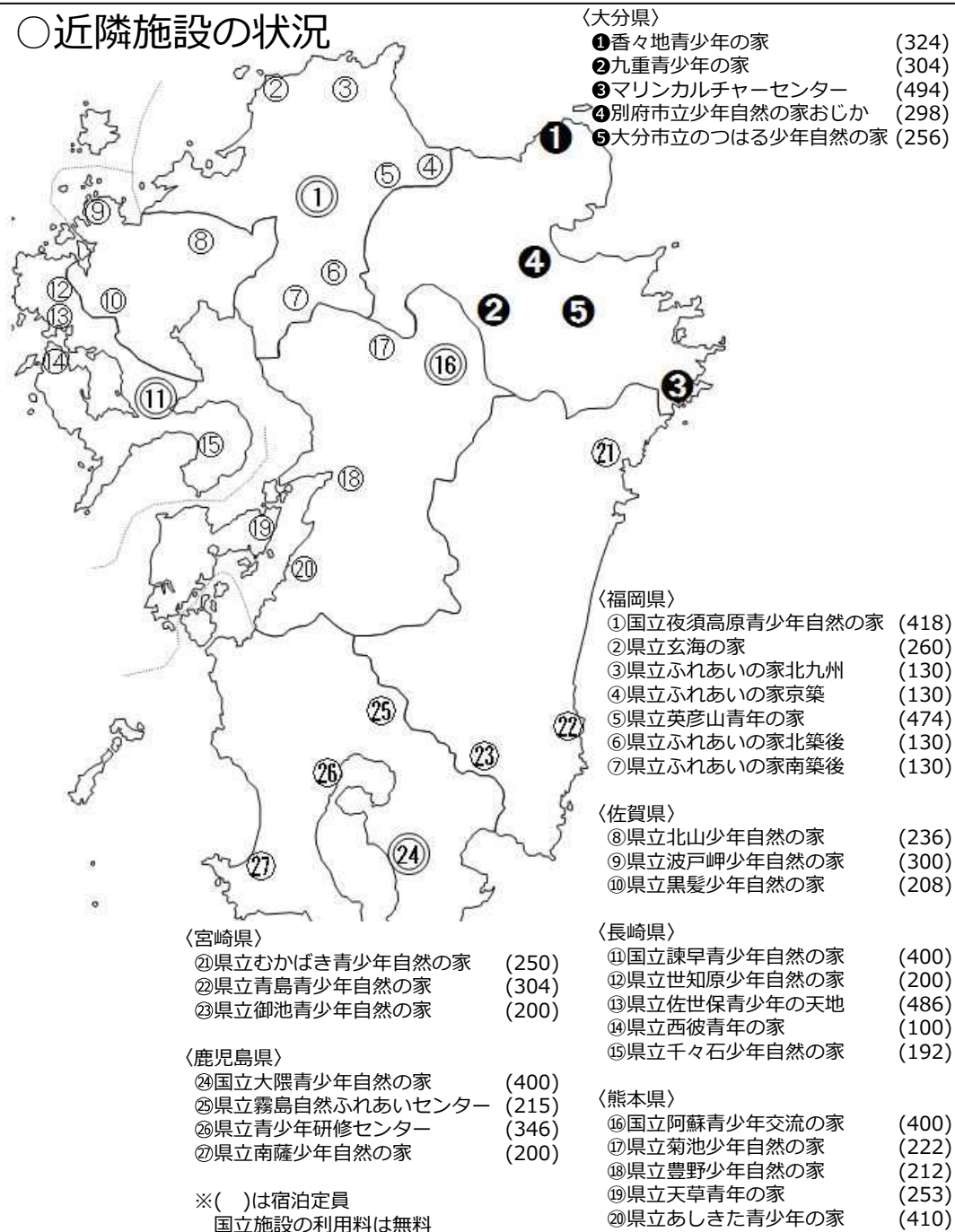
集団宿泊活動指導者研修会の様子



家族で協力したパドルボード体験活動の様子

これらの取組により29年度の延べ利用者を 香々地35,000人、九重48,000人へ

○近隣施設の状況



○県別利用者数

【香々地青少年の家】 (単位：人)

	H25	H26	H27
大分県	31,406	30,240	27,714
福岡県	2,865	2,836	1,384
佐賀県	0	0	0
長崎県	0	0	30
熊本県	48	372	652
宮崎県	32	0	6
鹿児島県	0	0	0
沖縄県	0	0	0
九州外	350	282	884
合計	34,701	33,730	30,670

H27利用分析

	学校利用	その他利用
大分県	51.1%	48.9%
福岡県	81.5%	18.5%
佐賀県	0.0%	0.0%
長崎県	66.7%	33.3%
熊本県	21.6%	78.4%
宮崎県	0.0%	100.0%
鹿児島県	0.0%	0.0%
沖縄県	0.0%	0.0%
九州外	15.8%	84.2%
合計	50.9%	49.1%

【九重青少年の家】 (単位：人)

	H25	H26	H27
大分県	31,179	32,704	34,400
福岡県	13,268	8,402	6,837
佐賀県	479	1,031	1,488
長崎県	391	1,006	588
熊本県	815	1,568	1,398
宮崎県	159	9	96
鹿児島県	204	579	790
沖縄県	0	3	484
九州外	810	1,143	526
合計	47,305	46,445	46,607

H27利用分析

	学校利用	その他利用
大分県	61.6%	38.4%
福岡県	28.4%	71.6%
佐賀県	0.9%	99.1%
長崎県	54.6%	45.4%
熊本県	0.0%	100.0%
宮崎県	0.0%	100.0%
鹿児島県	0.0%	100.0%
沖縄県	0.0%	100.0%
九州外	22.1%	77.9%
合計	50.6%	49.4%